

# 岡田復興盆踊り

## [被災者自身の力で震災復興の狼煙をあげる]

3月11日の東日本大震災時に発生した大津波によって岡田地域の半分が壊滅状態に陥りました。大切な家族を失った人や慣れ親しんだ家を失った人も大勢います。そんな辛い状況の中で、被災した方も含め地域の人達が一丸となって地域の震災復興を目指し、復興を誓う場として“お祭り”を企画しています。また、被災によって傷ついた地域の子供達や高齢者の笑顔を取り戻す為の場、震災後の地域住民の再会の場としての目的も兼ねています。

## [津波の被害にあった小学校]

今回の企画は、岡田地域の中心にある仙台市立岡田小学校で行います。岡田小は津波の被害に遭い、最近まで校庭の砂の入れ替えが行われていました。さらに被災した方の避難場所としても使われていた場所です。本来ならば、秋にある地区対抗の運動会で地域住民が毎年集まる場になるのですが、地域の半分が壊滅状態に陥ったため運動会は中止になりました。地域住民が慣れ親しんだ小学校に避難として集まるのではなく、復興や再会を目的として震災後初めて集まります。

## [震災でバラバラになった繋がり]

岡田地域は7つの地区（上岡田、下岡田、港南、堀切、新浜、荻袋、南蒲生）が集まり構成されている地域です。今回の地震によって発生した津波の被害は地域によって雲泥の差があります。津波の被害を受け仮設住宅に一時避難をしている方と、違った地域へ避難をしている方を合わせると地域の約半数近くに上ります。こういった状況が地域全体の繋がりを薄れさせています。薄れ始めた地域の繋がりを取り戻すためにも、復興祭を企画しています。

## [震災復興をきっかけに7地区が約20年ぶりに一つに]

岡田地域では約20年までは地元の有志が集まり青年団を結成していました。その青年団が岡田小学校で7地区の住民が集まる事の出来る夏祭りを開催していましたが、資金難や人員の確保に段々と無理が生じ青年団は解散され、地域住民全体で楽しめるお祭りはなくなりました。今回の震災では暗い出来事ばかりが目立ちますが、震災を期に地域住民がまた一つにまとまろうとしています。

## [メッセージ]

今回の企画では、竹灯籠を使った灯籠文字で“岡田”の文字を小学校の校庭に作成します。「岡田の空に向けて描く“岡田”の文字は震災で亡くなった方への追悼の意と、これからの震災復興を天に誓う私たちからのメッセージ」というコンセプトで作られています。被災地から発信する震災復興のメッセージが、違った被災地にも届く事を私たちは祈っています。

## -取材、告知のお願い-

震災の影響で地域住民がバラバラになり、避難している方へ連絡が取れない状況に陥っています。そこで、メディアを通して告知をして頂き連絡の取れない地元住民の方々にもこの企画を知って頂きたいと考えています。また、被災地が支援してもらっているだけでなく、被災地が中心となって震災復興をしようとしている姿を広く知って頂きたいと考えています。

## 本件に関する連絡先

東北工業大学 工学研究科 建築学専攻 福屋研究室  
鈴木啓太（上岡田在住）

T E L 090-2997-3022  
e-mail keita.act@gmail.com